

平成 28 年 第 5 回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 平成 28 年 5 月 26 日（金） 午後 2 時
- 2 招集場所 大河原町役場 議員執務室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員長、丹羽宜博委員、古山陽子委員、齋一志教育長
- 4 説明のため出席した者
教育総務課長 尾形 彰、生涯学習課長 大槻 文彦、学校教育専門監 千葉 英一
- 5 開 会 午後 2 時
- 6 平成 28 年第 4 回教育委員会定例会会議録の承認について
舟山委員長 （委員全員に諮って）承認する。
齋教育長、一盃森委員 署名。
- 7 平成 28 年第 5 回教育委員会定例会会議録署名の委員指名について
舟山委員長 | 舟山委員長、丹羽委員を指名する。
- 8 教育長報告
なし
- 9 議事
議案第 10 号 大河原町学校給食運営審議会委員の任命について
（教育総務課長説明）
大河原町学校給食運営審議会委員の任命についてご説明申し上げます。資料は別紙のとおりである。
舟山委員長 （委員全員に諮って）承認する。

議案第 11 号 大河原町障害児就学指導審議会委員の委嘱について
（教育総務課長説明）
大河原町障害児就学指導審議会委員の委嘱についてご説明申し上げます。資料は別紙のとおりである。
舟山委員長 （委員全員に諮って）承認する。
- 10 その他
（1）教育長報告
（説明者：齋教育長）
資料は別紙資料（校長会資料）である。

I 事務局 各学校の動き

(1) 「寿限無」旋風

○暗唱の重要性を人々が認識。反響大きい。

(2) 全国・東北・宮城県町村教育長会総会

①宮城県

5月19日(木) 10:00～総会 松島ホテル大観荘 大河原町事務局

②東北

5月19日、20日 第48回定期総会研究大会 松島ホテル大観荘 大河原町事務局

③全国

5月12日、13日 定期総会 東京

(3) 小学校運動会 5月21日(土)

中学校校長先生の励ましに感謝

① 大河原南小学校

議員、区長、民生児童委員、放課後児童クラブの応援多数。

大根踊りエッサッサ 応援合戦。

② 金ヶ瀬小学校

洗練された種目 6年生ダンスで徒競走入場 ハンカチ振り振り玉入れ ほか
走る姿が非常にきれい。

③ 大河原小学校

大河原音頭 総勢数百人。

騎馬戦 山伏登場。軍議あり。騎馬戦の歌を歌う地域の高齢者の姿、大合唱。

(4) 中学生によるボランティア活動

① 大河原中学校 恒例の「桜ボランティア」

② 金ヶ瀬中学校 花いっぱい運動(金ヶ瀬小学校と合同)

(5) 「報道機関」を積極的に活用

教員や児童生徒が熱心に活動していることを評価してもらう

II 委員会の動向

1 馳文部科学大臣 5月10日「教育の強靱化に向けて」

- ・次期学習指導要領 学習内容の削減はしない
- ・「ゆとり教育」か「詰め込み教育」かといった二極対立的な議論には戻らない
- ・知識・思考力 バランスよく育む 暗唱は詰め込みという短絡的な考えを強く打破する

2 「いじめへの対応」 文科省 生徒指導室長 平井秀一氏

いじめは日常におきている

「いじめ対策の組織」を機能させる「いじめのない学校」という目標は好ましくない

「抱え込み」のリスクを高める結果となる 抱え込ませない組織づくりを

「児童生徒や保護者」から「重大事態に至った」という申し立てがあった場合は「重大事態」とみなし、直ちに、報告、調査等にあたる。

3 「障害者差別解消法」の施行「合理的配慮の提供」が義務化

Ⅲ 管内教育長会議から

- 1 管内 管理職及び教職員の状況
- 2 教職員の事故防止
- 3 校長・教頭候補者選考
- 4 平成 29 年度宮城県・仙台市公立学校教員採用候補者選考
- 5 管理職の教職員に対する指導等

次長より

学校事務の共同実施 平成 28 年度～本格実施 当町は大河原小学校で月 2～3 回実施

班長より

教員免許更新について

全国で更新手続きを忘れて失効するケースが毎年発生する。実物の確認を徹底呼びかけ。

教科書展示会 6 月 17 日～14 日間 白石市民図書館 村田町歴史未来館 角田市民図書館

その他

東北町村連絡協議会で提言 「教育委員会制度の在り方の確認」

新制度がきちんと働いていないのではないかという通報が全国で発生。

実際に機能しているか確認しなければならない。地域の中で必要とされているか。

地域住民の教育の願いが反映しているか。

⇒地域の方々（PTA 会長や民生委員など）との合同会議を設ける必要があるのではないか。

たとえば「いじめ問題」

「学力向上」 小学校は 3 年連続県内トップ。中学校は県平均以下・・・
中学校になると 勉強時間半分に。ゲーム時間は 2～3 倍。

「町のスポーツ施設」立ち上げ

「学校給食センター建設」

「公民館補修」

(質 疑)

舟山委員長
教育長

今後の教育委員会のあり方などを次回までに考えてくるということによいか。
今回は「学校のあり方」について話し合う。教育委員会についてもあり方を検討する必要があるということ。地域からの声を拾う良い方法はないか考えていきたい。

舟山委員長
一盃森委員

では、それぞれ考えをまとめておくということをお願いしたい。
先だって東船岡小学校校長と話をする機会があった。創設当時から 10 年以上コミュニティスクールとして運営している。運営協議会年 4 回。委員さんは 15 名。
それが定着していることで、地域住民が学校のことをとても良く理解してくれているので、見守り隊や、除草作業等、学校の為に自発的に動いてくれるとのこと。
「地域が学校を作っていく」という一つの成功例だと思う。
地域の方々と共に、教育の環境づくりについて、考えていくのは必要だと思う。

	教育委員会が発信地になるのは必要だし大事なことと思う。
	ゆくゆくは大河原町も地域住民が動き出す学校づくりになるのが一つの方向性としての形ではないか。
教育長	大河原小学校は、プラットホーム事業として、地域の方に 1,000 名以上参加していただいているが、学校からの声掛けであり、本町地区の見守り隊など、自発的に行動する方は限られている。
専門監	総合会議に構成員として地域の方を取り込む形も良いのではないかと。既存の会議を膨らますという形もあると思う。
一盃森委員	東船岡小学校は、もともと地域にいた方々がすばらしいリーダーシップをとって下さったと聞いている。
専門監	コミュニティスクールは文科省でも提案しているが、あまり広がっていない。教育委員会が何をしているのかもわからないという方も多いと思うので、PTA等の代表の方に会議等を公開すれば理解も広がるのではないかと。
教育長	南小のもがり会や、金ヶ瀬の金みらい隊など、学校にかかわっている方々がボランティア活動を積極的にしていただいている。
教育総務課長	地域と学校との良いつながりを持っている団体が結構ある。
舟山委員長	各校のボランティア組織を紹介するのも良いのではないかと。
教育長	金ヶ瀬の「慈愛」善行表彰がすばらしい。故松山京子先生の基金。会長の大場先生の力が大きい。金ヶ瀬の地域に浸透しすばらしい地域づくりの土台となっている。
丹羽委員	学校の先生方に負担のないような支援でなければならない。
舟山委員長	今後の動きに期待している。

(2) 各課長報告

(説明者：教育総務課長、生涯学習課長)

6月の行事予定を説明申し上げる。別紙資料である。

1 1 次回教育委員会の開催日程について

舟山委員長 | 次回の定例会は、平成 28 年 6 月 24 日 (金) 午後 3 時から開会する。

1 2 閉会宣言 午後 3 時 24 分

平成 28 年 6 月 24 日

署名委員

署名委員